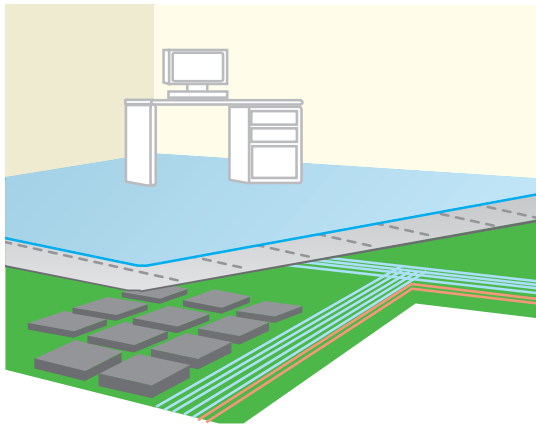


ボウジンテックス

# OAフロア仕様

## 防塵性、経済性、耐久性



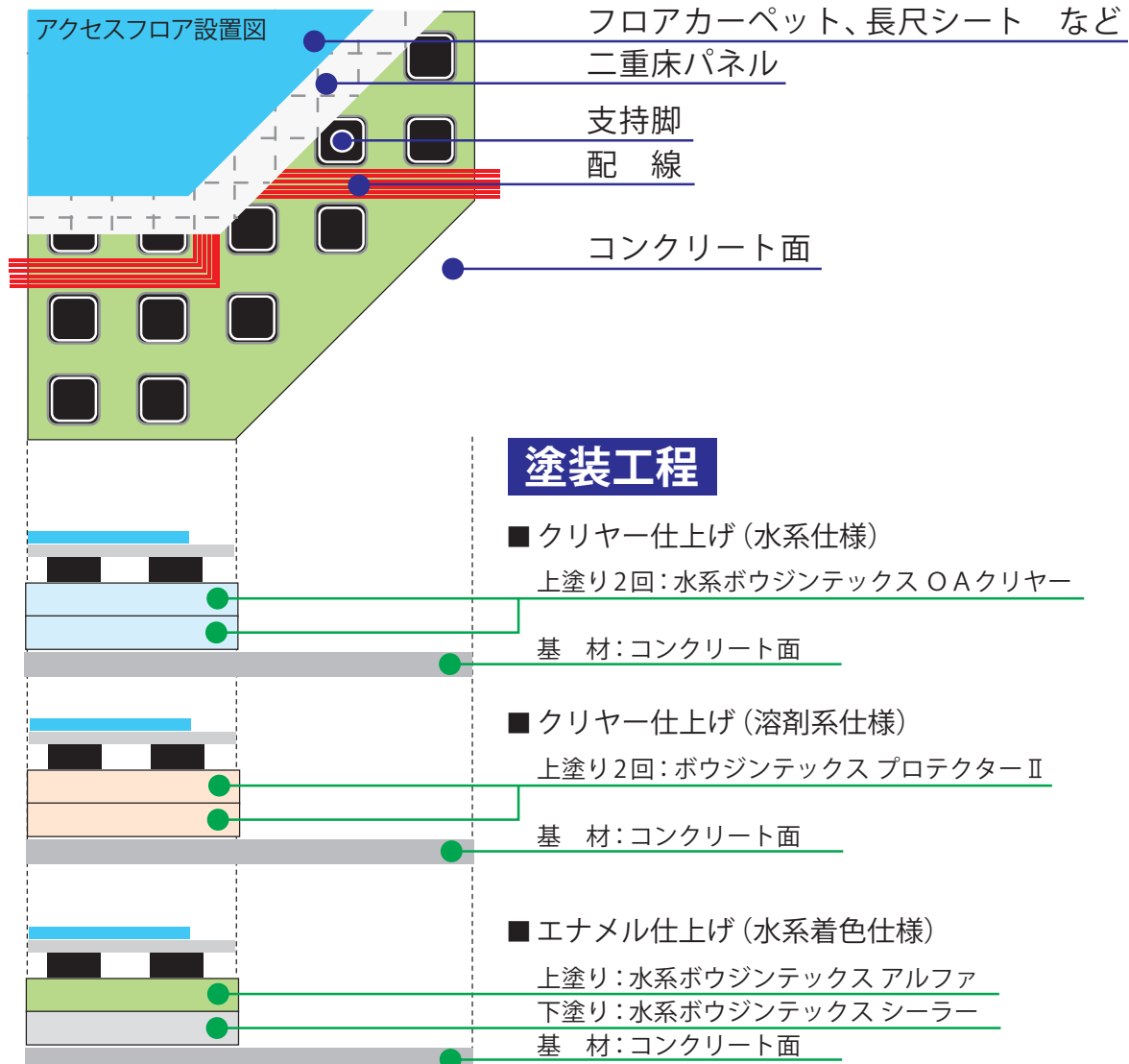
アクセスフロアを設置する前に塗料を塗装することにより、優れた防塵性能を付与することができます。また近年アクセスフロア内部を活用した、冷暖房システムを設置するケースが増えており、コンクリート面からのホコリを防ぐためにも下地処理としての塗装が不可欠になっています。

### 特長

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒドの発散は少ない  
建築基準法、建築材料の区分は  
規制対象外である。

1. コンクリート面からのホコリを長期間防ぎます。
2. アクセスフロアを活用した床下冷暖房システムに最適です。
3. 経済性と機能を重視した仕様です。



# 塗装仕様

## ■クリヤー仕上げ（水系仕様）

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイトンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリリッシャーまたはライナックス等で塗料が含侵する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。									
上塗り	水系ボウジンテックス OAクリヤー 15kg	無希釈	ハケ ローラー	2	0.10~0.13	57~75	—	2h以上	—	16h以上 完全硬化2日以上

※塗付量は条件により増減します。

## ■クリヤー仕上げ（溶剤系仕様）

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイトンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリリッシャーまたはライナックス等で塗料が含侵する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。									
上塗り	ボウジンテックス プロテクターⅡ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg	0~5% (#2000シンナー)	ハケ ローラー	2 (~3)	0.12~0.16	44~58 (29~39)	1h以内	3h以上 48h以内	—	16h以上 完全硬化2日以上

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

## ■エナメル仕上げ（水系着色仕様）

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイトンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリリッシャーまたはライナックス等で塗料が含侵する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。									
下塗り	水系ボウジンテックス シーラー 15kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.10~0.13	115~150	—	—	2h以上	—
上塗り	水系ボウジンテックス アルファ 15kg	5~10% (希釈水)	ハケ ローラー	1	0.15~0.20	75~100	—	—	—	6h以上 完全硬化2日以上

※塗付量は条件により増減します。

# 性能

試験項目	試験方法	結果		
		OAクリヤー	プロテクターⅡ	アルファ
引っかき硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4 に準ずる。 すり傷	HB	H	HB
耐摩耗性 (mg) (摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9 に準ずる。 摩耗輪 CS-17 荷重 500g×2,1000 回転	80±5	40±5	80±5
耐水性	JIS K 5600-6-2 に準ずる。 水道水に7日間浸せき	異常なし	異常なし	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1 に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸せき	異常なし	異常なし	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1 に準ずる。 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	異常なし	異常なし	若干白化
耐温水性	JIS K 5600-6-1 に準ずる。 50℃温水に48時間浸せき	異常なし	異常なし	異常なし
ホルムアルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆		

# 荷姿

### 上塗り材

水系ボウジンテックス OAクリヤー…………… 15kg・4kg  
ボウジンテックス プロテクターⅡ…………… 14kgセット  
(主剤10.5kg 硬化剤3.5kg)  
水系ボウジンテックス アルファ…………… 15kg・4kg

### 下塗り材

水系ボウジンテックス シーラー…………… 15kg・4kg

### 希釈剤

ボウジンテックス #2000シンナー…………… 16L・4L  
(プロテクターⅡ用)

# 注意事項

- 水系の床用塗料は、気温10℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、乾燥不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
- 溶剤系の床用塗料は、気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
- モルタルコンクリート養生後、多量の水がこぼれた箇所は1週間程充分に乾燥させてください。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
- 塗料缶を開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
- 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- 使用前には充分攪拌してください。
- 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合で混合し、マゼル等で充分攪拌してください。
- 2液型塗料は、塗料ごとの可使時間内に塗装してください。
- 2液型塗料は気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
- 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
- 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
- 主剤と硬化剤は別々に密栓し、暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
- 保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
- 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。
- 排水溝には捨てないでください。
- 静電気をきらう床には塗装しないでください。
- 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質（VOC等）に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気、近隣に迷惑をかけることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート（SDS）をご参照ください。

### 【水系ボウジンテックス OAクリヤー】

- 小分けして塗装に使用したOAクリヤーは元の石油缶に戻さないでください。
- 塗装面に塗料たまりやマジック跡等があるとクリヤー塗装した際、表面に浮き出たり、目立ちますので丁寧に除去してください。
- 下地の吸い込みむらにより仕上がりに濡れ色の濃淡が生じることがあります。
- クラック処理については通常エポキシパテで行いますが、クリヤー仕上げのため、塗装後、目立つこととなりますので、事前に打ち合わせのうえ行ってください。

### 【ボウジンテックス プロテクターⅡ】

- 塗装面に塗料たまりやマジック跡等があるとクリヤー塗装した際、表面に浮き出たり、目立ちますので丁寧に除去してください。
- 下地の吸い込みむらにより仕上がりに濡れ色の濃淡が生じることがあります。
- クラック処理については通常エポキシパテで行いますが、クリヤー仕上げのため、塗装後、目立つこととなりますので、事前に打ち合わせのうえ行ってください。
- ボウジンテックス プロテクターⅡは、樹脂の特性により、紫外線に曝露すると変色します。そのため、直射日光があたる場合はご注意ください。

### 【水系ボウジンテックス シーラー】

- 水系ボウジンテックス シーラーと上塗り塗料との混合は絶対に避けてください。(混合するとゲル化します)



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151  
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌

カタログ掲載の内容は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。